

バッファーガス冷却分子を用いたパリティ非保存観測 に向けて

Tuesday 20 February 2024 20:00 (20 minutes)

冷却された分子は対称性の破れの測定、量子コンピューター分野、物理定数の測定で用いられ、分子をいかに冷却するかが注目を集めている。本実験ではカイラル分子の超高精度分光により鏡像異性体間の励起エネルギー差を検出し、パリティ非保存を観測することを最終的な目標としている。そのためには数 Hz もの周波数精度での測定が必要であり、まず現在最高精度の分光を目指している。

Presenter: 中野雄 (岡山大学)

Session Classification: KOTO・冷却分子・原子核時計